



## 学校レポーター's コラム

# 「個に応じた指導と地域の理解に支えられた学校づくり」

川根高等学校 校長 深澤秀明



本校へ赴任して一ヶ月あまり、澄んだ空気、きれいな星空、美しい桜、そして、何よりも気持ちのよい生徒・前向きな職員と一緒に仕事ができる幸せを日々感じています。

4月6日、多くの来賓の方々のご臨席のもと、川根高校の第45回入学式が行われました。

これだけ多くの地域の方々が参列した高校の入学式は、私の経験では、初めてでした。地域の皆様の本校への熱い思いを感じるとともに、その期待の大きさに身が引き締まる思いでした。

さて、本校が地元中学校との連携による「中高一貫教育」を始め今年で6年目に入ります。

中学校との授業、部活動、行事での交流を通して、本校への理解を深めていただくとともに、本校へ入学した生徒一人ひとりの夢の実現に努めてまいりました。

生徒の頑張り、それを支える職員の気持ちのこもった指導、地域の方々の熱い思いが、少しずつ成果となって表れてきています。

今春の卒業生の8人が国公立大学へ進学、昨年度はカヌー部が全国高校総体で団体・個人とも優勝するなど、生徒の活躍は目覚ましいものでした。

また、吹奏楽部や郷土芸能部の発表も地域の方々に好評でした。

しかし、生徒数の減少に伴う、学級減・職員の減少と、本校を取り巻く環境は厳しいものがあります。

そこで、職員一同、川根高校の魅力さをさらに高めることを目標に、日々教育活動に取り組んでいます。

「個に応じた指導」を柱に、他の地域には見られない「地元高校への深い理解」に支えられた学校づくりに取り組んでいくつもりです。

今月の背表紙を飾る写真は、左から徳山のしだれ桜、高郷の桜、本川根小学校の桜です。